

1. 全体評価

(1) 全体指標の達成状況

目標	メニュー	全体指標	現状値			目標値			目標年度の報告			備考
			数値	単位	年度	数値	単位	年度	実績	達成率 (%)	年度	
森林整備の推進	高性能林業機械等の整備	間伐材利用量	41,533	m3	H29	50,000	m3	R4	28,433	57%	R4	(達成状況報告) 令和5年6月27日 令和5年7月31日
		間伐材の生産性	3.5	m3/人・日		5.0	m3/人・日		4.5	90%		

(注)

- 1 全体指標、現状値、目標値、単位については、事業計画の内容とすること。
- 2 達成率は、目標年度の実績／目標値とすること。
- 3 実績については、その調査方法と調査年月日を備考欄に記載すること。(別様可)
- 4 報告年度については、本要領第7の1に基づくこと。
- 5 行については、適宜加除すること。

(2) 総合評価

計画主体の評価及び今後の課題とその解決策

目標	本事業により実施した目標の分析とその評価	今後の課題とその解決策
森林整備の推進	林業機械の導入により、人役当たりの間伐材生産性の向上目標も概ね達成されており、効率的な間伐材の生産搬出が図られている。	木材生産が間伐から主伐へ転換していることもあり、間伐材生産は減少傾向にあるが、資源量や立地条件に応じた林業機械の導入や集約化、地形に適応した路網整備の取り組みなどにより、引き続き搬出間伐による木材の安定供給を図るとともに、間伐を通じた森林整備を推進する。

(注)

- 1 目標ごとに事業評価を分析したうえでその評価について記述するとともに、事業実施上明らかとなった今後の課題とその解決策を記述すること。
- 2 報告年度については、本要領第7の1に基づくこと。
- 3 本表には、目標ごとに評価等を記入すること。
- 4 行については、適宜加除すること。